

松戸市に『子どもの未来応援基金』が創設されました☆

～どの子ども自分の可能性に挑戦できる松戸市へ！～

市内の篤志家の方が「生活困窮世帯の子どもたちのために使ってほしい」と6,000万円も寄付してくださいました。

基金の目的は、①子どもの居場所を小学校区ごとに1ヶ所設置を目標にし、その立ち上げと継続の支援。②学びと自立への支援、などです。

子どもの貧困率の実態

子どものいる8世帯に1世帯は貧困状況にあります(2021年)。特にひとり親世帯、母子家庭は深刻だと言われます。就学年齢でありながら、家族をケアしている子ども=ヤングケアラーも注目されるようになりました。

子どもは光と栄養を与えるとグングン育つ!

子どもは、その子にそそがれる温かなまなざしや愛情があり、尊厳が守られ、尊重され、栄養価が高く美味しいものを十分に食べると、自己肯定感を育みグングン成長していきます。どんな家庭に生まれても守られなければならないことです。

子どもの権利条約を守ろう

日本は1994年に「子どもの権利条約」を批准しました。条約は、18歳未満の子どもを“権利をもつ主体”と位置づけ、おとなと同じく、ひとりの人間として持っている権利を認めています。また、すべての子どもに保障される権利のほかに、難民や少数民族の子ども、障がいのある子どもなど、特に配慮が必要な子どもの権利についても定めています。

子どもの権利条約 4つの原則

- 1 「命を守られ成長できること」
…医療、教育、生活への支援などを受けられる。
- 2 「子どもにとって最もよいこと」を第一に考える。
- 3 「意見を表明し参加できること」
…おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮する。
- 4 「差別のないこと」
…子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の権利が保障される。条約締結国は、これらを踏まえた上で方策を整え、子どもの権利を保障する必要がありますが、残念ながらできていません。

子どもに寄りそう松戸市!

本来は政治がその役割を果たすべきなのに複雑な気持ちですが、子どものためにご寄付いただいたことは、とてもありがたいことです。現在松戸市は、基金の持続性も考えながら制度の検討を急いでいるそうです。

子どもが安心して立ち寄り、話せる居場所はまだまだ不足しています。義務教育が終わると同時に補助がなくなり、高校や専門学校で苦勞している子どもたちも見過ごせません。制度の組み立ては難しいと思いますが、子どもが安心して夢に挑戦できるよう、子どもに寄り添う温かい「子どもの未来応援基金」となるよう、働きかけていきます。

ナチュラルライフのすすめ

身土不二でサステイナブルな生活を

身土不二(しんどふじ)とは「身体と土地は切り離せない。その土地でその季節に採れる食材を摂ることが健康につながる」という明治時代からの考え方です。地産地消と似ていますが、ビニールハウスで作られた季節外れの食材はNG。

地域で採れる食材を購入すれば、直接農家さんの支援につながり、エネルギーロスも少なく、サステイナブル(持続可能性)です。何より、新鮮で美味しい野菜を食べることができ、健康につながりますよね♪

その点、松戸市はとても恵まれた地域なのです。

9月議会の予定

コロナ感染の影響で日程変更の可能性があります

- 8月22日(月) 請願・陳情提出期限(正午)
31日(水) 定例会招集日
- 9月1日(木) 石(金)・5日(月)~7日(水) 本会議
9日(金) 総務財務常任委員会
12日(月) 健康福祉常任委員会
13日(火) 教育環境常任委員会 増田の担当
14日(水) 建設経済常任委員会
15日(木) 決算審査特別委員会(健康福祉分科会)
16日(金) 決算審査特別委員会(教育環境分科会)
20日(火) 決算審査特別委員会(建設経済分科会)
21日(水) 決算審査特別委員会(総務財務分科会)
26日(月) 決算審査特別委員会(全体会)
28日(水) 本会議(最終日)

おしゃべりカフェ & 議会報告会

※ご予約をお願いします

日時 8月20日(土) 午前10時30分~午後12時
会場 蔵のギャラリー結花(ゆい) 下矢切89-4
電話 361-2103 P2台(近くにパーキングあり)

ツキイチ相談会 しばらくお休みします

市政に関するご意見やご要望、お受けしています!

松戸市議会議員 増田かおる



✉ matsudoshi.masuda.ka
🌐 <http://www.knaosrudanet/>
📍 〒27-1006 松戸市下矢切894
☎ Tel / 0476-2103